

令和 8 年 1 月 28 日

東京都水道局長 山口 真 殿

羽村市長 橋本 弘山

都営水道への事業統合に関する要望

大寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より当市水道事業に対し、格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和 7 年 4 月に羽村市長としての 2 期 5 年目がスタートいたしました。未来への希望を持ち、市の将来像である「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」の実現に向け、着実に取り組んでいるところです。

さて、当市の水道事業は、昭和 36 年の町営水道事業開始以来、独自の事業運営を続けて参りました。この間、昭和 46 年に東京都が策定した「多摩地区水道事業の都営一元化基本計画」に対し、平成 8 年と 12 年に都から一元化の意向確認をいただきましたが、当時の事業判断として当面の間、一元化を見送った経緯がございます。

現在、当市では、「第二次羽村市水道ビジョン」に基づき、水道管路の耐震化及び水道施設の改修等を進めています。しかしながら、人口減少等により料金収入の減少が続く一方で、施設の維持管理費は固定的に発生し、水道施設の老朽化対策は喫緊の課題であります。また、専門的な知識や技術を持った職員の高齢化と後継者不足も問題となっており、市単独での事業運営は、財政面、人材面ともに限界があるのが実情です。将来にわたって安定かつ持続可能な水道サービスを市民に提供するためには、都営水道との事業統合が必要と考えております。

統合の検討に当たっては、様々な課題を解決していく必要があることは重々承知しており、暫定分水料金に関する協議を前に進めることも含めて、市として全力で取り組んでいく所存でございます。

つきましては、下記のとおり要望いたしますので、特段の御配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 将来の事業統合を視野に、事業運営に関する基礎調査を東京都と羽村市との協力のもとに進めることを要望します。
- 引き続き、市営水道事業の基盤強化に対し技術支援を行うことを要望します。